

カップルでうつ予防

現代では「うつ」は15人に1人以上がかかる疾患であり、身近な人からの影響が大きいといわれています。出産前後や更年期、うつが発症しやすい時にこそ、カップルはお互いを理解していくことが大切ではないでしょうか。

日時 2012年 **12月8日(土)** 13時~16時

場所 **アメジストホール** (大阪 都島)

講演1：「母親のうつ・父親のうつ」

西村明子（兵庫医療大学看護学部准教授 助産師）

講演2：「夫源病：男性は女性の迷惑か？クローン時代の男性の存在意義」

石蔵文信（大阪大学大学院医学系研究科准教授 循環器科専門医）

講演会の前に、アメジスト 大衛株式会社より

「産後悪露の横漏れ対策の新たな試み - 『産後パットマルチ』着用による - 」
をお話しさせていただきます。

- 参加費 会員 1000円 非会員 2000円 学生 500円（当日徴収）
- 定員 120名
- 申込方法は、裏面をご覧ください。

主催：性と健康を考える女性専門家の会近畿支部（支部長 末原紀美代）

共催：アメジスト大衛株式会社

後援：（社）大阪府看護協会 （社）大阪府医師会 日本母性看護学会

講師紹介

石蔵 文信（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻准教授 循環器科専門医）

大阪市内で男性更年期外来も担当。一般医-精神科ネットワーク代表世話人も務める。1955年京都生まれ。国立三重大学医学部卒業後、国立循環器病研究センター(心臓内科)、大阪警察病院(循環器科)などを経て米国メイヨークリニックに留学、現在に至る。

男性更年期外来の開設以来10年間で約600名の相談に応じて、悩める男性はもちろん、その看病をする妻の悩みにも耳を傾けてきた。そこから見えてきたものは男性の何気ない言動や行動に傷つき、不安を抱えながら耐えて家庭を支えている女性の姿であった。当人が辛さに気付き、悪循環を断つことが更年期症状の改善に大きくかかわっている。もっと楽にやっつけていける夫婦関係を目指しながら、活動を行っている。

西村 明子（兵庫医療大学看護学部看護学科准教授 助産師）

大阪大学医療技術短期大学を卒業後、大阪大学医学部附属助産婦学校に進学し、助産師として大阪大学医学部附属病院に就職。助産師6年、看護師5年の臨床経験後、大阪大学医学部保健学科に助手として異動。2007年に兵庫医療大学に着任し、現在に至る。

大阪大学在任中に、「外来にパタニティブルーズの患者さんがいてはるのよね〜。」という石蔵先生の言葉をきっかけに、父親の産後うつ病について研究をはじめること。父親の調査はリクルートや調査票の回収率の点で難しく試行錯誤の日々が続いているが、調査に協力してくださるカップルの存在に励まされながら、地道な研究活動を続けている。

■申し込みについて

参加ご希望の方は、①お名前、②ご所属、③連絡先アドレス、④電話番号を、メール（またはFAX）にて下記にお知らせください。

E-mail : ww-kinki@huhs.ac.jp F A X : 078-304-2818

（性と健康を考える女性専門家の会近畿支部事務局）

■会場のご案内

アメジスト大衛株式会社 5階ホール
大阪市都島区都島本通2-2-16

* 地下鉄谷町線都島駅2番出口より
南に徒歩約7分

* JR環状線桜ノ宮駅東口より
徒歩約10分

